



2020年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月10日

上場会社名 株式会社キリン堂ホールディングス
 コード番号 3194 URL <https://www.kirindo-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺西 豊彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小林 剛久
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

上場取引所 東

TEL 06-6394-0100

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	32,659	2.7	647	61.9	858	33.0	503	65.6
2019年2月期第1四半期	31,795	3.4	399	56.6	645	49.5	303	26.5

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 491百万円 (52.8%) 2019年2月期第1四半期 321百万円 (35.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	44.85	
2019年2月期第1四半期	27.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	53,422	15,219	28.4
2019年2月期	50,561	14,911	29.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 15,165百万円 2019年2月期 14,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		17.50		17.50	35.00
2020年2月期					
2020年2月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,900	2.9	1,550	83.0	1,860	44.1	840	20.6	74.81
通期	133,000	2.6	3,200	57.3	3,850	31.3	1,710	16.2	151.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	11,332,206 株	2019年2月期	11,332,206 株
期末自己株式数	2020年2月期1Q	99,658 株	2019年2月期	118,858 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期1Q	11,219,503 株	2019年2月期1Q	11,144,346 株

(注)期末自己株式数には、キリンホールディングス社員持株会信託が保有する自社の株式を含めております(2020年2月期1Q 98,500株、2019年2月期 117,700株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年2月期1Q 111,545株、2019年2月期1Q 186,702株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しました。世界経済については、米中貿易摩擦の影響により、先行き不透明な状況が続いています。

ドラッグストア業界におきましては、市場規模は、全体としては引き続き拡大していますが、縮小する商圈の中で業種・業態を超えた競争は厳しさを増しています。業界の大手企業をめぐり、新たな再編の流れが顕在化し、将来を見据えた経営戦略が一段と重要になっています。

このような経済環境のもと、当社グループは、「当社の強みである未病対策をお客様に提案すること」、「お客様の利便性を高めるための品揃え、サービスを提供すること」の二つを当期の基本方針とし、お客様に当社店舗でのお買い物の楽しさを感じていただき、お客様の満足度を高めることを目指しています。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<小売事業>

当第1四半期連結累計期間におきましては、シーズン商品が順調に推移したこと、前期から引き続き進めている店舗改装の効果が継続していること、自社電子マネー付きポイントカード「K i R i C a (キリカ)」の利用者が増大したことにより、業績はおおむね計画に沿って推移しました。

出退店状況におきましては、ドラッグストア1店舗、調剤薬局1店舗の計2店舗を出店する一方、ドラッグストア2店舗、調剤薬局2店舗の計4店舗を閉店いたしました。また、調剤薬局1店舗の譲受を行いました。結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループ国内店舗数は368店舗となりました。

	前 期 末	出 店	子会社化等による新規増加店舗	閉 店	既存ドラッグストアへの調剤薬局併設	当第1四半期末
ドラッグストア (内、調剤薬局併設型)	329 (48)	1 (-)	- (-)	△ 2 (-)	- (2)	328 (50)
調剤薬局	39	1	1	△ 2	-	39
F C店	1	-	-	-	-	1
合計	369	2	1	△ 4	-	368

この結果、小売事業の売上高は322億63百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は7億83百万円（同59.4%増）となりました。

<その他>

その他事業におきましては、売上高は3億95百万円（前年同四半期比25.4%減）、セグメント利益は14百万円（同44.9%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は326億59百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は6億47百万円（同61.9%増）、経常利益は8億58百万円（同33.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億3百万円（同65.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億60百万円増加し、534億22百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加15億95百万円、受取手形及び売掛金の増加3億8百万円、たな卸資産の増加8億31百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億51百万円増加し、382億2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加10億15百万円、電子記録債務の増加1億77百万円、短期借入金の増加2億円、賞与引当金の増加4億37百万円、長期借入金の増加3億5百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加し、152億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加3億4百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月10日の「2019年2月期決算短信」で公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,844	9,439
受取手形及び売掛金	2,603	2,912
たな卸資産	14,991	15,822
その他	2,908	2,706
流動資産合計	28,348	30,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,472	9,298
その他（純額）	2,321	2,499
有形固定資産合計	11,793	11,797
無形固定資産		
のれん	606	613
その他	364	357
無形固定資産合計	970	971
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,672	4,688
その他	5,140	5,444
貸倒引当金	△365	△363
投資その他の資産合計	9,448	9,770
固定資産合計	22,212	22,539
資産合計	50,561	53,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,447	10,463
電子記録債務	7,994	8,171
短期借入金	600	800
賞与引当金	568	1,005
店舗閉鎖損失引当金	—	27
その他	5,622	6,064
流動負債合計	24,232	26,533
固定負債		
長期借入金	8,665	8,970
退職給付に係る負債	1	2
資産除去債務	1,475	1,464
その他	1,274	1,232
固定負債合計	11,417	11,669
負債合計	35,650	38,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	5,447	5,447
利益剰余金	8,462	8,767
自己株式	△96	△80
株主資本合計	14,813	15,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	32
その他の包括利益累計額合計	44	32
非支配株主持分	53	54
純資産合計	14,911	15,219
負債純資産合計	50,561	53,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	31,795	32,659
売上原価	23,362	23,802
売上総利益	8,433	8,856
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	3,062	3,126
賞与引当金繰入額	438	435
賃借料	1,683	1,688
その他	2,849	2,959
販売費及び一般管理費合計	8,033	8,209
営業利益	399	647
営業外収益		
受取情報処理料	136	139
受取賃貸料	114	114
その他	137	92
営業外収益合計	388	347
営業外費用		
賃貸費用	100	98
その他	42	36
営業外費用合計	142	135
経常利益	645	858
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
減損損失	45	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	27
その他	85	5
特別損失合計	130	33
税金等調整前四半期純利益	514	826
法人税、住民税及び事業税	344	490
法人税等調整額	△136	△168
法人税等合計	208	322
四半期純利益	306	503
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	303	503

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	306	503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△12
繰延ヘッジ損益	0	—
その他の包括利益合計	15	△12
四半期包括利益	321	491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	490
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	31,265	530	31,795	—	31,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	89	89	△89	—
計	31,265	619	31,885	△89	31,795
セグメント利益	491	25	517	△117	399

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△117百万円には、セグメント間取引消去12百万円、のれんの償却額△14百万円、営業権の償却額△3百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△111百万円が含まれております。

全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。その結果、市場価格の著しい下落又は収益性の悪化等により、回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「小売事業」セグメントの減損損失の計上額は45百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	32,263	395	32,659	—	32,659
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	87	87	△87	—
計	32,263	482	32,746	△87	32,659
セグメント利益	783	14	798	△150	647

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△150百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれんの償却額△37百万円、営業権の償却額△3百万円及び各事業セグメントに配分していない全社費用△110百万円が含まれております。

全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	32,263	3.2
その他 (百万円)	395	△25.4
合計 (百万円)	32,659	2.7

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		
		売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)
商品売上高	医薬品	5,401	2.9	16.7
	健康食品	1,113	△3.6	3.5
	化粧品	7,838	0.7	24.3
	育児用品	750	0.2	2.3
	雑貨等	13,289	3.3	41.2
	計	28,394	2.1	88.0
調剤売上高		3,538	13.0	11.0
その他		331	1.7	1.0
合計		32,263	3.2	100.0

(注) 小売事業の「その他」は、ネット通販売上高等であります。